

ごとう通信

第 60 号

平成 17 年 12 月 1 日

皆さん、大変です。もう、今年が終わってしまいます。先日半袖のシャツをしまったばかりというのに。昔、祖母や両親がこんなことを言っていました。「年をとると時間がたつのがはやいわ〜」ものすごく実感するこの頃です。

さて、十二月一日は「ふれあい歯科ごとう」の開業記念日です。今年で満二年。かつて僕が勤めていた歯科医院の院長が、「開業二十年かあ。早いもんだ。」と言っていたことを思い出します。いろいろなことを経験しながら、そんなことを言えたらいいなあとも思います。とは言え、この二年間でもいろ



いろなことがありました。多くの方との出会いと別れ、診療の結果を喜んでいただいたこと、逆にいつまでもつらい思いをさせてしまったこと、さらには間抜けな失敗等々。僕たちの実力には限界がありますが、皆さんと一緒に歩めたらいいなあと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

また、この「ごとう通信」も60号です。なぜか、五年二ヶ月かかりましたが、継続はチカラ…かなあ。さらに、開業日は僕の誕生日でもあります（偶然です）。今年で四十歳、未だ抵抗あり。ちなみに僕が三十歳の誕生日の直後に結婚をしました。あゝ、これまた十年。登世子だけ見て「新婚さん？」というのはいもやめてください。

それにしても、「年をとると時間がたつのがはやいわ〜」

介護予防の話

実は、今年一年間で三十回近

い講演会やセミナーの講師をしました。と言っても、別に「売れっ子」になったわけではありません。来年から介護保険の制度の中で「介護予防」という枠組みが取り入れられることになり、その三本柱の一つが「口の機能向上」だったからというのがカラクリです。

そもそも、介護予防の対象の方というのは、「ふれあい歯科ごとう」に通院されている方や、サロンで活躍されている高齢の方です。つまり、講師はどの歯科医院の先生でも良いはずなのですが、わざわざ僕にご指名が来るというのは、診療室から在宅診療まで実践しているという

